

社員に見捨てられた過去から若手が活躍する組織へ

地味で古い会社でも 若手がワクワクする仕組みづくり

愛知県でレインウェア・防水エプロンを手掛ける、創業 104 年の老舗雨がっぱメーカー

船橋株式会社。正社員 14 人のうち 8 人が 20～30 代で、新卒 3 年後の定着率 100%を誇る。

変身のきっかけは 15 年ほど前の経営危機だった。舟橋社長が父から 3 代目を継ぎしばらくした頃、社員の多くが一斉退職。悩んだ末、学生の長期インターンシップを受け入れた。

対話の中で若者が「社会貢献」にやりがいを感じることに気づき若手主導プロジェクトを発足。

メディアや地元大手を巻き込む安全啓発活動にまでつながった。

社員の大量離職という危機を乗り越え、「若手が集まり、活躍できる」組織へと

生まれ変わった実話。若者の定着・育成・ビジョンの浸透に苦悩した経験と、

インターン活用や採用の工夫を交えてお伝えします。



日時 2025 年 10 月 24 日 (金)
13:30 ～ 15:00

会場 蒲郡商工会議所 イベントホール (2F)
蒲郡市港町 18-23

参加費 無料

対象 経営者・社員、学生

第 1 部 舟橋社長による講演

第 2 部 若手社員をまじえた
クロストーク

元・船橋株式会社 企画課 経営企画 G サブリーダー

大谷 真奈美 氏

社長の「ミギウデ」として 7 年間、
若手主導プロジェクトや共創活動を牽引

愛知県立大学 4 年

2026
内定

鎌倉 朱里 氏

「ひつじサミット」プロジェクトリーダー
としてアップサイクル事業に取り組み中



FUNAHASHI 船橋株式会社
RAIN WEAR & APRON

代表 取締役 舟橋 昭彦 氏

大学卒業後、名古屋の繊維商社に入社。1994 年に家業に戻り、2002 年に大正 10 年創業のカップ屋の三代目社長に就任する。「快適・安全・清潔」をスローガンに消防団向け高視認カップや血に強いカップ型エプロンなど企画販売する。2020 年は不足する医療用ガウンをトヨタ自動車の支援の下、東海エリアの中小企業 6 社と約 1000 万着を生産し厚労省、病院に納入。2025 年、創業 104 年を迎える。



2784.co.jp



トヨタ自動車 豊田章男社長 (当時) 訪問の様子

FAX 0533-68-0339 テックスビジョンミカワ開催委員会 宛

事業所名

参加者名 ①

参加者名 ②

TEL

Mail

お問合せ テックスビジョンミカワ開催委員会 (蒲郡商工会議所 内) tel 0533-68-7171

ご記入いただいた内容は、本セミナー運営のために使用するほか、関係事業の情報提供のために利用させていただくことがあります。



オンライン申込